

この度は、ミラーメディアプレーヤー『MM-1』をお買い上げ頂き、誠にありがとうございました。

■この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読み頂き、安全にお使いください。お読みになった後は、本紙をいつでも見られる場所に大切に保管し、必要な時にお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意 安全にお使いいただくために、必ずお守りください

ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



警告 使用上のご注意

■走行中は運転者による操作をしない

運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。安全のため、パーキングブレーキを操作して停車させないと、一部の操作ができないようになっていきます。

■運転者が映像を見るときは、必ず安全な場所に車を停車させる

本機は、安全のため、パーキングブレーキを操作して停車しないと、映像を見ることができないようになっていきます。 *1

■本機を分解したり、改造しない

事故や火災、感電の原因となります。また、保証対象外となります。

■画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店に相談してください。

■万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変なにおいがするなど異常が起こった場合、直ちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店に相談する

そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。

■本機の取り付けおよび取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店に依頼する

取り付けには専門技術が必要です。



注意 使用上のご注意

■運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

■本機を車載用以外には使用しない

感電やケガの原因となることがあります。

■樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない

部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。お手入れは乾いた布か固く絞った布で拭いてください。

■本機に直接クリーナー等のスプレーを吹き付けない

故障の原因となります。本機にクリーナーを使用する場合は、布等に適量をスプレーし、塗り延ばした後に乾いた布で吹き上げてください。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



警告 取付上のご注意

■大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しない

本機はDC12V車専用です。火災や故障などの原因となります。

■配線作業中は、バッテリーのマイナス側ケーブルをはずす

ショート事故による感電や、けがの原因となります。

■接続コード類の配線は、高熱部を避けて行う

コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。特にエンジンルーム内の配線には注意してください。

■本機を前方の視界を妨げる場所や同乗者に危険を及ぼすような場所に取り付けけない

運転操作を妨げたり、はずれたりして、けがや交通事故の原因となります。

■コード類は、取り付け説明の指示に従い、運転操作の妨げとならないように配線処理する

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくこと、事故の原因となります。

■車体のボルトやナットを使用してアースをとるときは、ステアリングやシートレール、ブレーキ系統などの重要保安部品のビスは使用しない

事故や故障などの原因となります。

■規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換する時は、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



注意 取付上のご注意

■正しい接続をする

誤った接続をすると、火災や事故の原因となることがあります。

■必ず付属の部品を指定通り使用する

指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずにはずれたりして、事故や故障の原因となることがあります。

■振動の多いところなど、しっかりと固定できないところには取り付けけない

はずれて、ケガや事故の原因となることがあります。

■本機を落下させたり、ガラス面に外部から衝撃を加えたりしない

本機はミラー部にガラスを使用しております。破損やケガの原因になることがあります。

○電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。雑音や誤動作の原因になる場合があります。また、リモコンスタートも誤動作の原因になる場合があります。

○本機は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するために、やさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

○本機は国内でのみお使いいただけます。国外ではお使いになれません。

○車内の温度が極端に高い(炎天下駐車)ときや低い(厳冬期駐車)ときは、常温になってからお使いください。

○本機を取り付け可能なルームミラーの縦方向幅は55~80mmです。なお、ルームミラーの位置や形状により取り付けできない場合もあります。

○安全運転への配慮から、映像が表示されるのは、停車中(パーキングブレーキを引いているとき)だけです。 *1

○映像をご覧になるときには、必ず、車を停車させてご利用ください。 *1

○液晶ディスプレイの画面上に常時点灯している輝点(赤、青、緑など)や減点がある場合があります。液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

○本機の液晶ディスプレイパネルは非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点が見れたり、赤、青、緑の点が消えないことがあります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。また、ミラー型モニターという構造上、同タイプの液晶ディスプレイより角度や光の反射、周囲の環境によって見えづらいう事もあります。これらの点をご了承のうえ、本機をお使いください。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。

○接続する機器が、規格外製品、粗悪な製品の場合、正常に映像が表示できない(白黒表示や画像の乱れ)ことがあります。詳しくは、販売店・メーカーまでお問い合わせください。

○スマートインターフェースは、運転の妨げにならない場所に市販の両面テープ等を用いてしっかりと固定してください。

*1: バックカメラ作動時は除きます。

音楽を聴く



ラベル面を手前にして挿入口にメディアをカチッと奥まで挿入します。

を押して電源を入れます。

を押して再生を開始します。

基本操作

・**ボリューム** を押し続けると連続して調整できます。

※市販のデジタルプロセッサーを使用される場合、ボリュームの操作は無効となります。(POSITION設定・D選択時)

停止と一時停止

・**一時停止** 再生中の曲を一時停止します。もう一度押すと停止位置から再生します。

・**停止** 再生中の曲を停止します。 ボタンを押すと停止時の曲の頭から再生します。

選曲する、早送り、早戻し

・**次の曲の頭出し** を短く1回押します。

・**再生中の曲の頭出し** を短く1回押します。

・**早送り** を長く押し続けて聞きたい場所で離します。

・**早戻し** を長く押し続けて聞きたい場所で離します。

DVD/ナビゲーション等の映像を見る

スマートインターフェースの Picture In (AV) に映像のみを入力してください。

決してそれ以外の音声等の信号は入力しないでください。

車を停止させサイドブレーキを引くと映像が映し出されます。

メディアによる音楽再生時の動作表示はPicture Inに入力された映像の上に表示されます。

(PICTURE) を押すと画面は消えます。

バックカメラの映像を見る

スマートインターフェースの Picture In (CAMERA) にカメラの映像を入力してください。

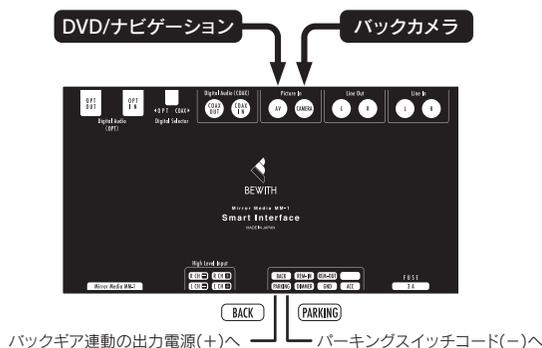
スマートインターフェースの (BACK) にバックギア運動の+B (12V)を入力してください。

ギアをバック(R)に入れます。カメラの映像が映し出されます。

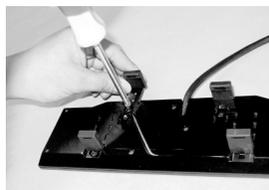
※この際、画面上のメディア動作の表示はされません。

本体の電源がOFFの状態でも自動的に電源が入りカメラ映像が表示されます。

Picture In AVに入力された映像よりもカメラ映像が優先されて表示されます。



本製品を既存のルームミラーに取り付ける



固定ステーをルームミラーの形状に合わせて調整します。



①ルームミラー下部にスライドステー(可動側)を引っ掛けます。

②そのまま本体を引き上げながら上方の固定レバーをルームミラー上部に掛けます。



しっかり固定されている事を確認してください。



※固定を確実にするために付属の結束バンドでしっかりと固定してください。



専用ケーブルを接続します。

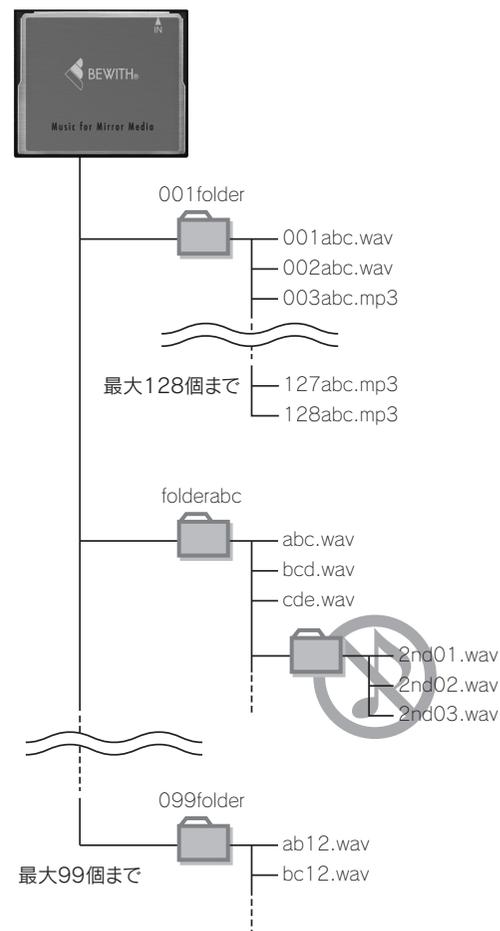
対応メディア(別売り品)

本機ではCF規格準拠品のコンパクトフラッシュ(Type I 及びType II)が使えます。本機では容量が4GBまでのメディアが使用できます。その他のメディアカードはアダプターに装着して利用してください。

※対応メディアのコンパクトフラッシュは、本製品お買い求めの販売店が推奨されるものを使用されることをお勧めします。尚、マイクロドライブについては、フラッシュメモリーを搭載したコンパクトフラッシュに比べると振動や衝撃に弱いので、車室内での使用は推奨いたしません。

音楽データをメディアカードに書き込む

パソコンで書き込まれた音楽データ(WAV/MP3)の再生ができます。音楽データファイルは必ずメディアカード内の一番上の階層にあるフォルダに、コピーして貼り付けるか、ドラッグ・アンド・ドロップしてください。



フォルダと音楽データファイルの名前の付け方

各フォルダと音楽データファイルの名前は任意の英数半角文字でつけてください。

例)・フォルダ

airtst01.....

英数半角文字99文字以内

※本機のディスプレイにはパソコンで作成したフォルダ名の最初の8文字が表示されます。8文字以上は再生中に表示されません。

・音楽データファイル

002abc..... wav (またはWAV)

英数半角文字99文字以内 拡張子

003abc..... mp3 (またはMP3)

英数半角文字99文字以内 拡張子

※フォルダと音楽データファイルの名前の.(ドット)およびwav、mp3等の拡張子は本機では表示されません。

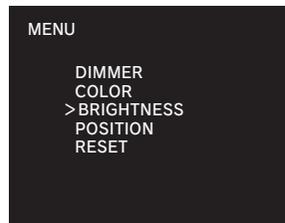
フォルダとファイルは、それぞれの名前の順に再生されます。ファイル名等に数字とアルファベットが混在する場合は数字が優先されます。フォルダに入っていない曲は再生されません。フォルダが2階層以上になっている場所の曲は再生されません。最大99フォルダ、1フォルダにつき128ファイル(曲)まで作成できます。英数半角文字以外の漢字かな文字等は表示できません。MP3の各タグには対応していません。動画ファイルには対応していません。

ご使用上の制限

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。本製品の不具合により、メモリーカードに保存された音楽データが破損または消去された場合、データの補償についてはご容赦ください。

各メニューについて

●メニュー画面



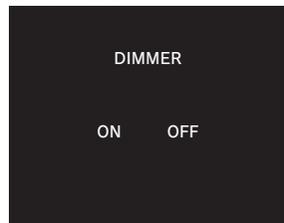
MENU を押してメニュー画面を表示します。もう一度押すと通常画面に戻ります。

▲ ▼ を押してメニュー項目を移動します。

ENTER を押して各項目を選択します。

選択した設定画面に移動します。

●ディマー設定



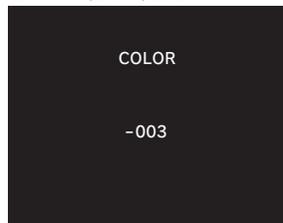
◀ ▶ を押してON, OFFを選択します。

ONを選択すると画面の明るさが暗くなります。OFFを選択すると車輻のイルミネーションをONにした時のみ画面が暗くなります。

選択後 **ENTER** ボタンで決定して

MENU画面に戻ります。

●COLOR(色あい)設定



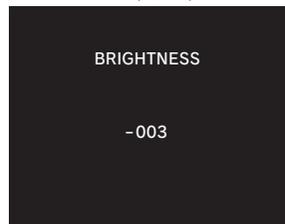
◀ ▶ を押して色あいを調整します。

調整の範囲は -010 ~ -001, 0, +001 ~ +010 です。

調整後 **ENTER** ボタンで決定して

MENU画面に戻ります。

●BRIGHTNESS(明るさ)設定



◀ ▶ を押して明るさを調整します。

調整の範囲は -010 ~ -001, 0, +001 ~ +010 です。

調整後 **ENTER** ボタンで決定して

MENU画面に戻ります。

●POSITION設定



リスニングポジションの設定やデジタルシステムの切替に使用します。

◀ ▶ を押して選択します。

アナログ出力

L 左シートポジション
N ノーマルポジション
R 右シートポジション

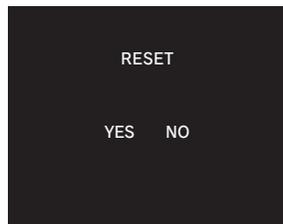
デジタル出力

D デジタルポジション(スマートインターフェースのデジタルOUTを使用する場合に選択してください。)

選択後 **ENTER** ボタンで決定して

MENU画面に戻ります。

●RESET



すべてのメニュー設定を初期状態にします。

◀ ▶ を押してYES, NOを選択します。

選択後 **ENTER** ボタンで決定して

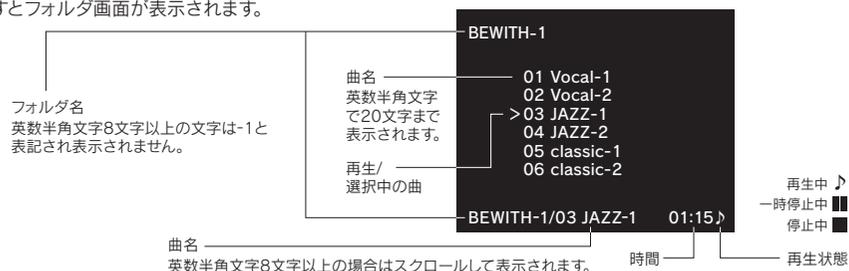
MENU画面に戻ります。

〈初期状態〉

DIMMER — OFF
COLOR — 0
BRIGHTNESS — 0
POSITION — N

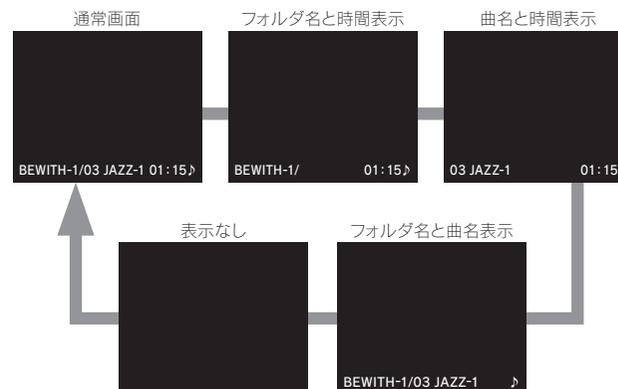
画面表示の説明

FOLDER を押すとフォルダ画面が表示されます。



表示切替

通常画面より **DISPLAY** を押す度に以下のように再生表示が切り換わります。



※表示なしの場合に、ボリュームや選曲等の操作を行った場合、再表示されますがおおよそ5秒で表示は消えます。

画面のON/OFF

PICTURE を押す度にモニター画面が表示→非表示→表示と切り換わります。



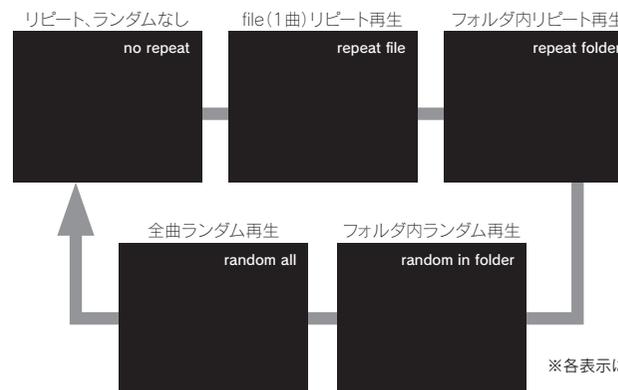
フォルダ移動と曲の選択 ダイレクト選曲

FOLDER を押してフォルダ画面を表示します。



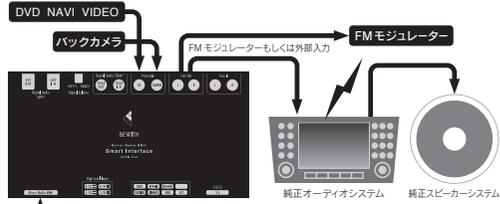
リピート、ランダム再生

再生時より **REPEAT/RANDOM** を押す度に以下のように切り換わります。



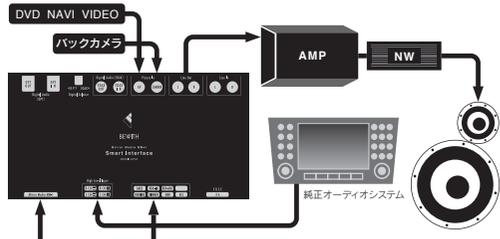
MM-1の接続

純正システムと接続 (1) MM-1+純正システム



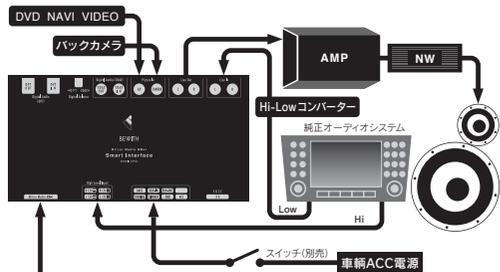
純正オーディオに外部入力がある場合、スマートインターフェースのLine Out①②の出力を純正オーディオの外部入力に接続してください。外部入力がない場合は、FMモジュレーター(別売)を使用してください。

純正システムと接続 (2) MM-1+純正システム+後付アンプシステム



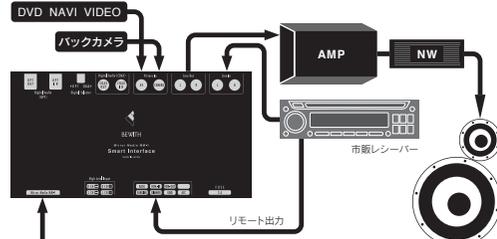
REM-INにACC電源を入力。スイッチ(別売)をつけてください。スイッチのON/OFFによりMM-1と純正オーディオを切り換えます。

純正システムと接続 (3) MM-1+純正マルチアンプシステム+後付アンプシステム



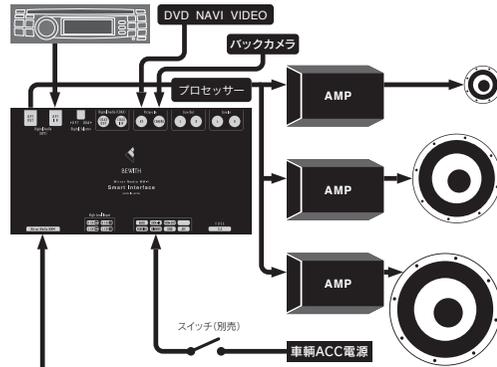
REM-INにACC電源を入力。スイッチ(別売)をつけてください。スイッチのON/OFFによりMM-1と純正オーディオを切り換えます。純正オーディオシステムが、マルチ出力(2way)の場合、Hi-Lowコンバーター(別売)を使用することでミックス入力できます。

市販システムと接続 (1) MM-1+市販システム/アナログ



REM-INに市販レシーバーのリモート出力を入力。市販システムのON/OFFによりMM-1と市販レシーバーを切り換えます。

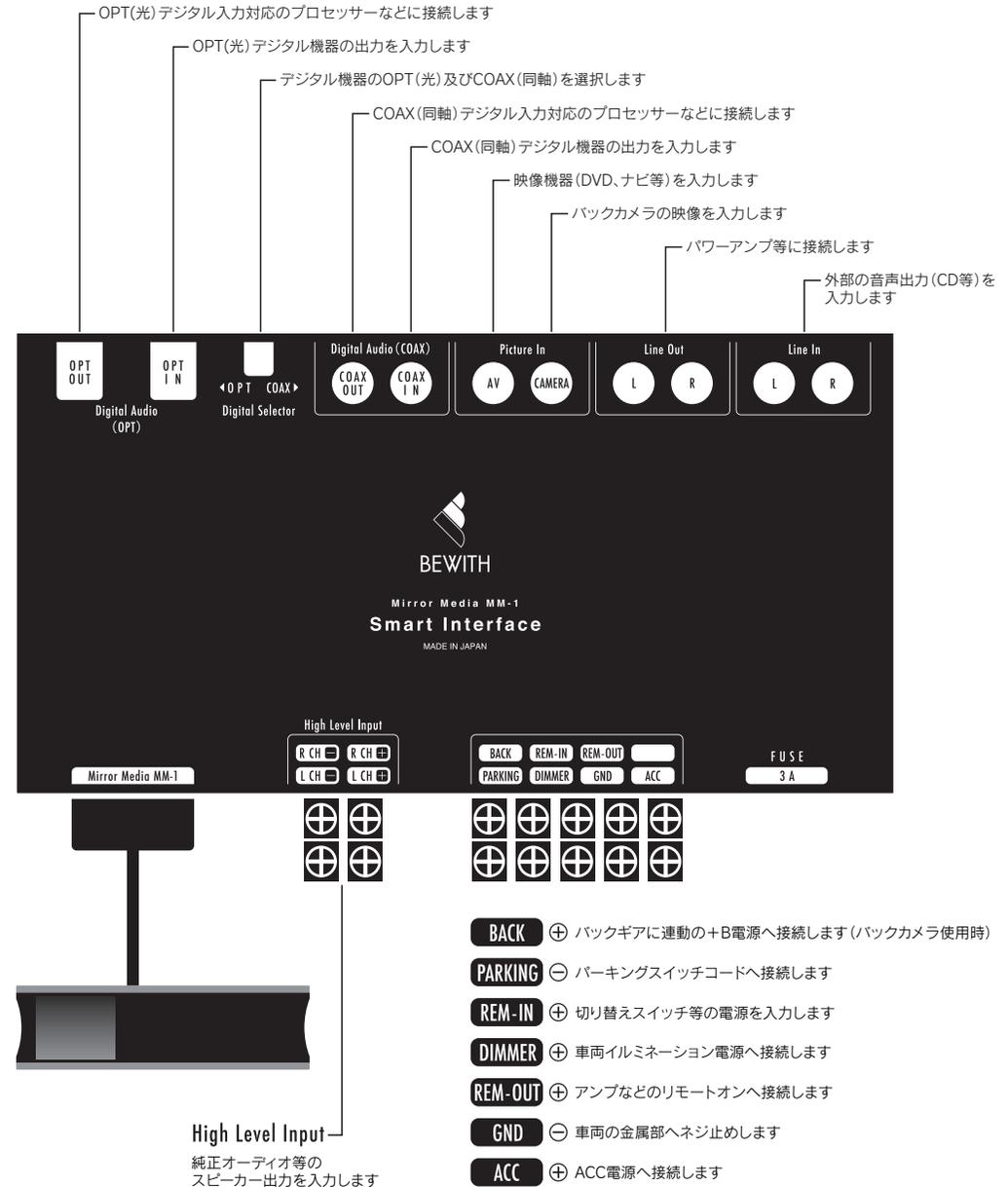
市販システムと接続 (2) MM-1+市販システム/デジタル



REM-INにACC電源を入力。スイッチ(別売)をつけてください。スイッチのON/OFFによりMM-1と市販システムを切り換えます。

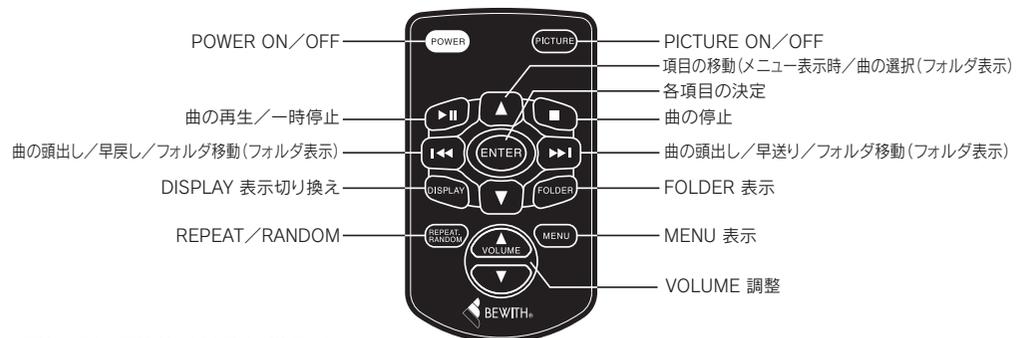
注) MM-1 とその他のシステム(純正システム又は市販システム)の切り替えには、別途スイッチが必要です。VOL コントロールはそれぞれのシステムで行います。詳しい接続の方法については、ビーウィズ取扱店で実車にて確認してください。

スマートインターフェースの基本接続図



注) 本機を常時電源に接続する必要はありません。ミラーメディアMM-1は、省消費電力設計のため、電源スイッチを本体に設けておりません(リモコンで任意にON/OFFは可能)。ACCに常時電源を接続すると、エンジン停止時にMM-1の電源がOFFにならないために、接続されている他の機器(例:パワーアンプ等)の電源もOFFにならず、バッテリーあかりの原因となる可能性があります。

リモコン各部の名称



※電池はボタン電池 (CR2025) をご使用ください。

リモコンの電池交換

1. 下記の穴にボールペンなど先のとがったものを差し込み、矢印の方向へ押し出します。

2. 電池の+側を上にして置きます。



3. カチッと音がするまで押し込みます。

リモコンの取り扱い上のご注意

- リモコンは直射日光の当たるところには置かないでください。長時間放置すると変形や変色したり、故障の原因になります。
- リモコン信号送信部をミラーのリモコン信号受信部に向けて操作してください。
- リモコン信号受信部に直射日光が当たっていると、操作できない場合があります。
- 電池は充電しないでください。液漏れの原因になります。
- 電池の液漏れが起こったときは、付着した液をよく拭き取ってから新しい電池と入れかえてください。
- リモコン操作の感度が下がってきたときは、新しい電池と交換してください。



※電池は消耗品なので保証対象外です。

付属品一覧

□MM-1×1 □Smart Interface×1 □専用ケーブル(3m)×1 □リモコン×1 □結束バンド×2 □取扱説明書・保証書×1